

人的資本の情報開示と人材育成

2023年5月
株式会社ジンジャーアップ
教育プラットフォーム戦略室
杉 眞里子

本日のアジェンダ

- 1. 人的資本経営に世界が注目**
- 2. 人的資本の情報開示**
- 3. 日本の課題**
- 4. 国をあげての学び直し リスキリングの背景**
- 5. 人的資本の活用 今からできること**
- 6. 人材育成とテクノロジー**
- 7. これまでのLMSの課題もLRSで解決**
- 8. LRS活用 成功の秘訣**

70%

・・・何の数字でしょう？

1. 人的資本経営に世界が注目

投資家の約**7割**が注目 → 「**人的資本経営**」

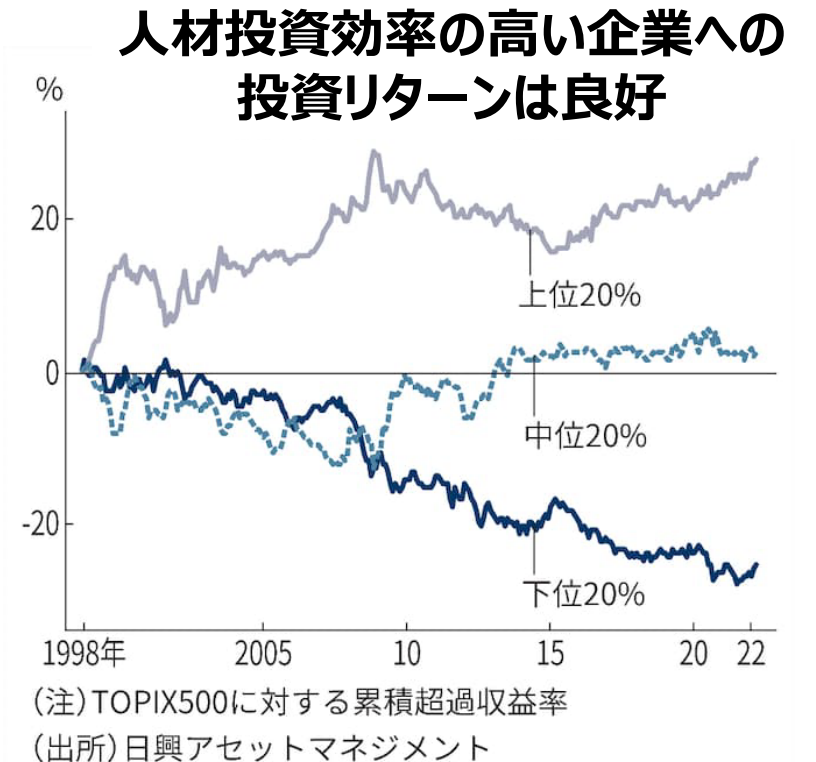
人材

これまで「人件費」コストとして過小評価

コストではなく「資産」としてもっと活用

海外では、企業価値の源泉は、工場設備等の有形資産から、人材活用等の無形資産へ

人材投資効率の高い企業への
投資リターンは良好



「人的資本の情報開示」とは：
社員を「人材」としてどのように活用しているか、を情報開示すること



人的資本の情報開示が**義務化**

■ 人的資本活用の情報開示は世界的な流れ

- **米国**：2020年8月に上場企業に対して人的資本の開示を**義務化する規制**が追加され、2020年11月より順次、企業の人的資本の開示が始まる
- **ヨーロッパ**：人的資本の情報開示として、**ISO30414***の**認証取得する企業**がでてきている。
※情報開示については、人的資本情報開示のガイドラインであるISO30414を参照することも有効

■ **日本**：人的資本開示、23年4月期以降 **大手4000社対象**

2022年12月13日 日経新聞

■ 平均年収、日本は最下位、伸びていない



■ 国をあげて学び直し リスキング

■ 「学び直し」に750億円 転職まで一貫支援

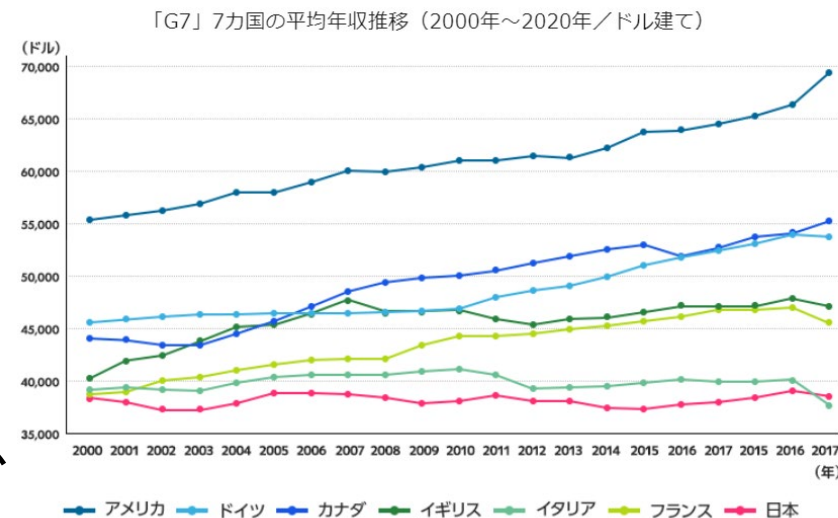
一経産省補正予算案 2022-11-04 時事通信

・岸田政権が発表した**1兆円支援のリスキング**もあわせて、**国をあげて「学び直し」**の機運が高まっています。

「G7」7カ国の平均年収 20年間推移 (2000年～2020年/ドル建て)

- ・日本は最下位
- ・さらに伸びていない

※OECD Stat. 2021年12月のデータをもとに作成・加筆



4. 国をあげての学び直し リスキングの背景

1兆円支援のリスキング 国をあげて「学び直し」

企業

DX人材の
不足

企業にとっては、外から採用するのが難しくなっている**DX人材**について、**社員教育で育成するほうが効率的**

優秀な人材の
確保

優秀な社員に、**研修育成で学びや成長の機会を提供**
※成長の機会がないと思うと、優秀な人材ほど辞めていきます

政府

人材流動により
給料アップと
経済活性化

転職含めた人材流通によって、**個人が自力で
キャリアアップで年収アップ**
=「**人材の流動性**」「**経済活性化**」

5. 人的資本の活用 今からできること

社員に**学びの機会** = 研修履歴やフィードバック どのように管理していますか？

研修履歴の管理には、**優れたLMS(ラーニングマネジメントシステム)の選択**とその前提となる**企業戦略**が重要

LMS ラーニングマネジメントシステムとは : Learning Management Systemの略で「**学習管理システム**」

-インターネットやパソコン、スマートフォンで学習を行う**eラーニング**を実施する際の**ベース**となるシステム

-管理者向けの学習管理というより、**主に受講者に向けて学習しやすく効果の高い学習環境を提供することに重点**

- **人材育成分野へのテクノロジーの応用** 日本ではまだあまり進んでいないが海外では常識
- **LMSは比較的着手しやすい** ← 人事システムの更改よりも敷居が低い

<LMSの活用が有効な理由>

- **新しいテクノロジー**や**新規事業創出**に必要な**リスキリング(学び直し)**に**LMSは不可欠**
- **既存のシステム**はそのまま、**学習データや履歴**を**1箇所**にまとめていくことができる
- 他のシステムに**依存せず、単独でも始めやすい**

6.人材育成とテクノロジーの応用

✓ せっかく研修を実施しているなら・・・

人材育成とテクノロジーの応用

- 企業の**方針**や**人事計画**とあわせた**体系的な**研修プログラムの企画
- 実施した結果から、**社員へ個別最適な**研修へ
- **企業戦略から人材育成へ、このサイクルを回すにはテクノロジーが必須**

いまのLMSで課題はありませんか？

✓ いま、eラーニングやLMSを検討あるいは利用されているなら・・・

- さらに**個別最適な**研修でモチベーションアップや業務向上につなげたい
- **人事システム**やさまざまなアプリケーションと連携したい

相互運用性と目的の明確化

- 他のシステムとの**相互運用性(インターオペラビリティ)**
- **目的**をもって整備しておくことが重要
- これらを意識して**データベースを整備**しておくことが大事

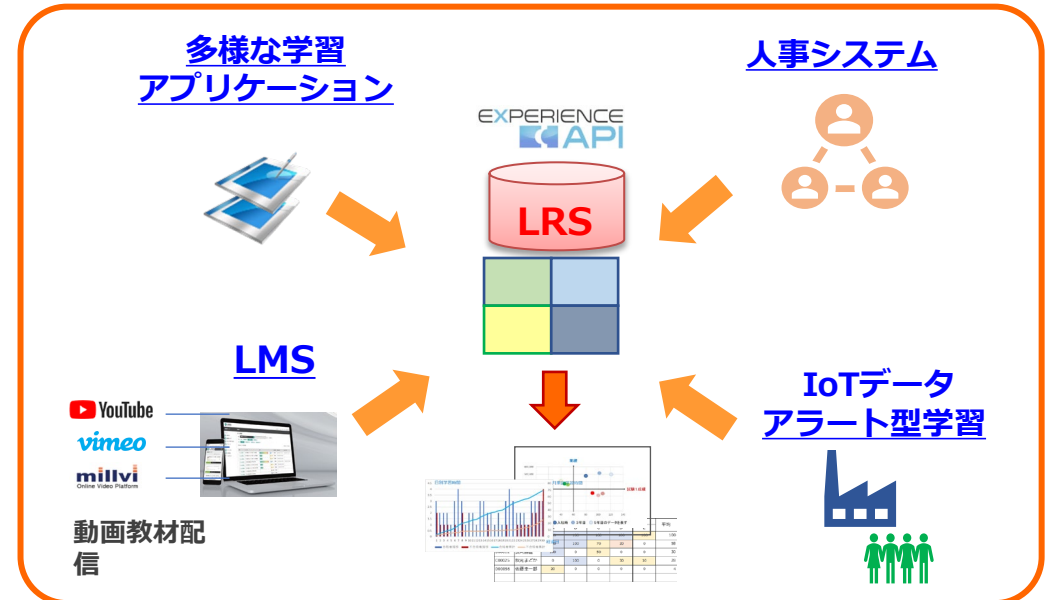
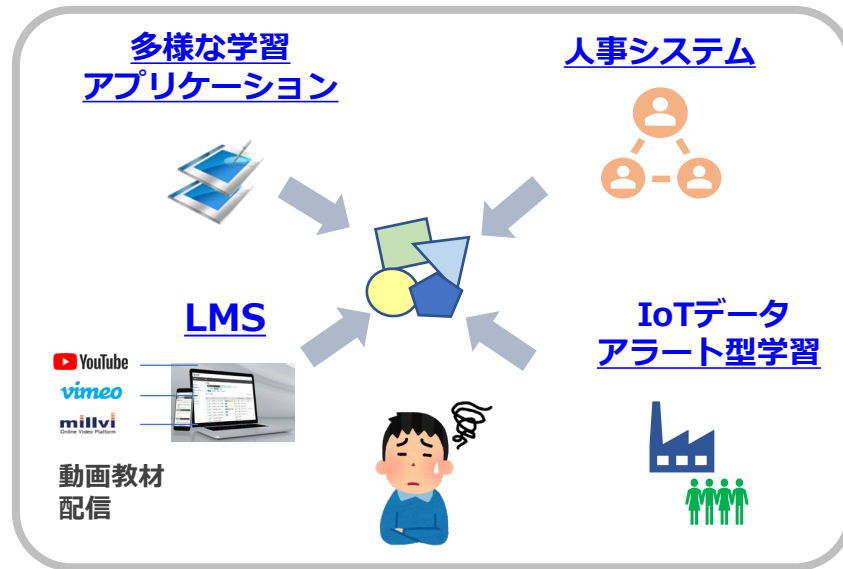
7.これまでのLMSの課題も、LRSで解決

LRSの特徴 複数システムからの学習・経験履歴を統合し分析が可能

様々な学習関連システムに分散した学習履歴も共通形式でLRSに統合できるので目的に応じた分析も可能。

複数のシステムから取得される学習履歴データから相関関係等进行分析・把握することは**LMSだけでは困難**

LRSには共通形式でデータが記録され有効な分析が可能に



※ xAPI に対応していないシステム(人事システム、IoTデータ等)であっても、適切な xAPI ステートメント定義形式に変換するコンバーターを提供致します。それにより、共通形式で LRSに記録、格納が可能です。

1. 相互運用性が担保された「**認証LRS**」を利用すること

認証LRSでないと、相互運用性がそこなわれ、期待したデータ統合ができないとも。

2. アウトプットから**バックキャスト**する（目的の明確化）

「目的」を明確化し、そこから逆算して「ステートメント定義」します。

3. 日本品質の**コンサルティングサービス**

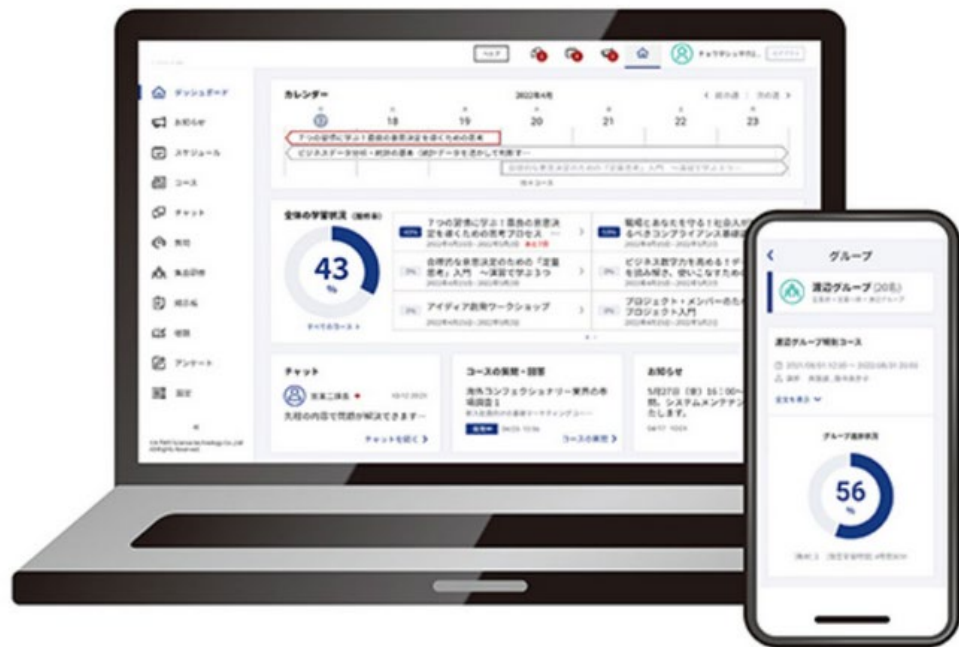
「ステートメント定義」「コンバーターの用意」等、日本語、日本品質のサポートが安心

- **ジンジャーアップ**なら、**確かにつながる「認証LRS」と「日本品質のコンサル」**



xAPI/cmi5 に完全準拠した次世代LMS

多様な学習経験履歴をLRSに統合して活用可能



日本で初めて
国際規格標準化を行う機関 米国ADLによって
「認証LRS」に承認

- ※ **xAPI(Experience API)** :
学習履歴と LMS間の通信を規定する標準規格
- ※ **cmi5** :
xAPIをベースにコンテンツとLMS間の通信を規定した標準規格
- ※ **ADL** : Advanced Distributed Learning

アウトプットを先に決定、バックキャスト

多様なインプットデータ

多様な利用者・利用シーン

cmi5 LMS 学習履歴



zoom
Google Meet

SCORM LMS (複数) 学習履歴



A社LMS
B社LMS

moodle
Blackboard

ポータル/eポートフォリオ

In Campus

業務システム, 意識調査, アセスメント



人事システム
営業システム
学生情報システム

動画教材視聴履歴, シミュレーター, VR

millvi
Online Video Platform



vimeo



資料協力: 伍拾雀堂

SNS 発言履歴



チャットツール

xAPI規格



統一形式のビッグデータ

インプット



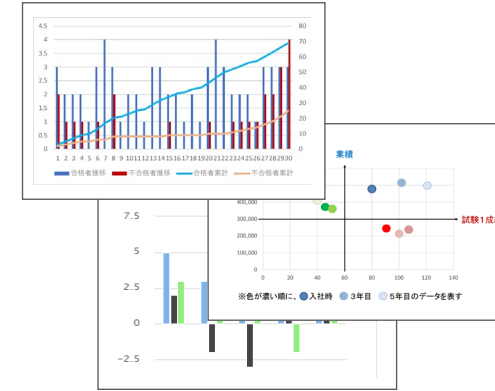
アウトプット



Learning Record Store

経年蓄積データの活用
→ 精度アップ

統合ラーニングアナリティクス



各種相関分析レポート

外部 BI ツールへの出力



データ利活用

- 一人一人に合った指導
- 教え方の改善
- 教材コンテンツの改訂

レコメンダの判定と指示

バックキャスト

目的の明確化

1. 自主開発でADLに**正式認証を受けたLRS**を有すること

運用最適化のためのチューニング、必要に応じての機能付加にも対応可能です。

世界には複数の認証LRSが存在しますが、海外のサービスにおいて、日本同様のサポートは期待できません。日本語でのLRSのご利用が効率的です。

2. xAPI仕様の **LRSを活用した多くの導入実績**を有すること

xAPI 化を成功させるためには、アウトプットの利用目的設定から、それに必要なスタディログの決定と**最適なステートメント定義の設計が重要**です。弊社は、いくつもの導入実績において、それら一連のサポートを充実させてきております。（ジンジャーアップコンサルティング）

3. **グローバル動向や国の方向性とも連動**

xAPI に続く、その拡張版である cmi5 仕様の LMSを開発できているのは、世界でも弊社のみ。

常にグローバルのコミュニティ、デジタル庁や政府関連との意見交換・連携も行い最新情報を把握しています。

ジンジャーアップは

日本の教育・トレーニング基盤を**刷新**する

EdTechリーディングカンパニーです

- 会社名 : 株式会社ジンジャーアップ Ginger App Company
- 本社住所 : 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル 4F
- 事業内容 : eラーニング用学習管理システムの開発・販売
2014年よりビッグデータ相互運用のための新規格「xAPI」
関連サービスの開発・販売
- 設立 : 2009年12月1日
- 所属団体 : 日本イーラーニングコンソーシアム(eLC)
ラーニングイノベーションコンソーシアム (LIC)
1Edtech / 日本IMS協会

学習管理システムを自社開発し
販売を10年以上行っている
eラーニング専門企業です。

eラーニングの全てをワンストップで提供し、
人への教育を発展させます。

導入コンサル

- 教育体系構築
- アカウント管理
- 教育コンテンツ管理
- 分析レポート

クリエイティブ

- 教材コンテンツ制作
- 各種ファイル変換

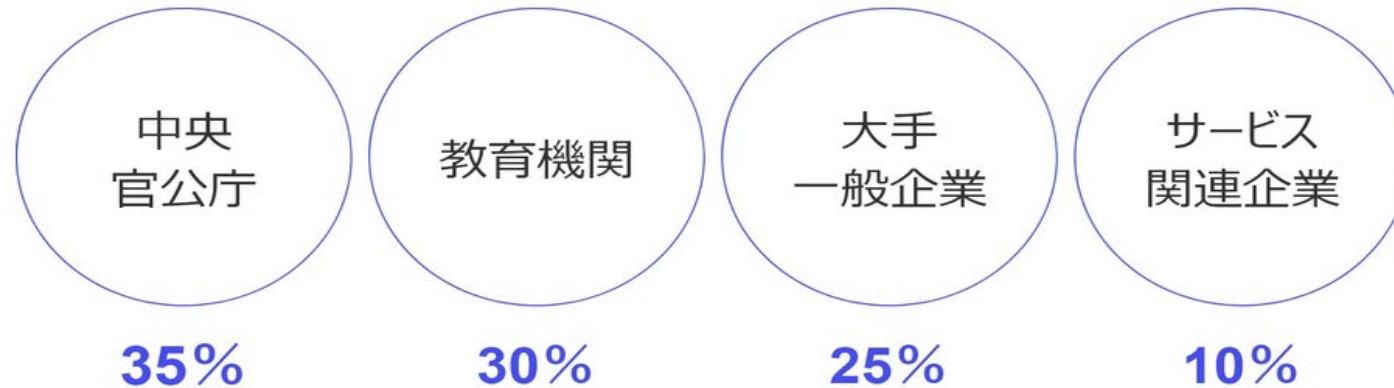
システム運用

- xAPI/LRS
- LMS (学習管理)
- 動画配信
- cmi5

主なお客様は、中央官公庁や大手企業・大学等で、多くが弊社と直接の取引を行っています。

顧客業種別の売上割合

2



(2022年8月現在)

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

河合塾

GLOBIS

【主要取引実績】 デジタル庁、防衛省、内閣官房内閣人事局、内閣府、総務省、農林水産省、厚生労働省、自治大学校、消防大学校、群馬警察、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、日本貿易振興機構(JETRO)、情報処理推進機構(IPA)、製品評価技術基盤機構(NITE)、産業技術総合研究所(AIST)、東京大学、慶応義塾大学、島根大学、東京都立産業技術高等専門学校、全国健康保険協会、日本政策投資銀行、医学研究所、河合塾、グロービス、NEC、NECマネジメントパートナー、NTTコムウェア、キヤノンITソリューション、富士電機、大正製薬、塩野義製薬、住友商事、鴻池運輸、三菱UFJリース、日企、コメ兵、ニュートンフィナンシャルコンサルティング、太陽ホールディングス、アイシン精機、イビデン、シチズン、外為ドットコム

受賞・アワード

- 「第11回 日本e-Learning大賞」学習記録賞 受賞
2014年11月



- 国際教育規格標準団体ADLにて認証LRSに登録
2017年11月



- 「第3回Global e-Learning Award」グローバルシルバー賞 受賞
2022年11月





xAPI/cmi5 に完全準拠した次世代LMS

多様な学習経験履歴をLRSに統合して活用可能



日本で初めて
国際規格標準化を行う機関 米国ADLによって
「認証LRS」に承認

- ※ **xAPI(Experience API)** :
学習履歴と LMS間の通信を規定する標準規格
- ※ **cmi5** :
xAPIをベースにコンテンツとLMS間の通信を規定した標準規格
- ※ **ADL** : Advanced Distributed Learning

結論

ジンジャーアップのLRS/LMS

ならうまくいく！

Thank You !
ありがとうございました

株式会社ジンジャーアップ

お問い合わせ/Contact us

<https://www.gingerapp.co.jp/contact.php>



サービス・製品に関する
お問い合わせはコチラ →

e-mail : info@gingerapp.co.jp

電話 : 03-6659-2448 (代表)

※受付時間 : 10:00~17:00(水、土、日祝日を除く)

急募！

**一緒に夢を追いかけてくれる
エンジニアの方・協働パートナー
を募集しています！**

**今、注目される
最先端技術xAPIはグローバルスタンダード！
日本で唯一のADL認証LRSをもつ
ジンジャーアップで
一緒に働いてみませんか？**

https://www.gingerapp.co.jp/recruit/recruit_info.html



←ご興味がある方は**コチラ**

ジンジャーアップ 採用サイト